

第198回教育研究評議会<議事要録>

日時 令和4年1月17日(月) 14:00 ~ 15:15
場所 <TV会議により実施>
本部棟5階 大会議室, 本部棟3階 特別会議室, 医学部 第1会議室
出席者 服部学長, 藤田理事, 肥後理事, 大谷理事, 椎名理事, 長澤理事, 金山副学長,
松崎副学長, 増永副学長, 丸橋法文学部長, 加藤教育学部長, 磯村人間科学部長,
鬼形医学部長, 伊藤総合理工学部長, 川向生物資源科学部長, 田中評議員,
高橋評議員, 石原評議員, 小俣評議員, 松本評議員, 河野評議員, 廣光評議員,
境評議員, 村川評議員, 杉江評議員
オブザーバー 千家監事
欠席者 河添評議員
〔陪席: 企画部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 法文学部事務長,
教育学部・人間科学部事務長, 自然科学系事務部長, 学生支援課長,
総務課長, 自然科学系第二課長, 監査室長〕

議題1 学生の懲戒について

- 肥後理事から学生の懲戒について概要を説明した後, 当該学生の所属する学部長から詳細について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議題2 第4期中期目標(原案)・中期計画(案)の策定について

- 肥後理事から第4期中期目標(原案)・中期計画(案)の策定について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議題3 教育の質保証及び学外者に対する準委任契約から雇用契約への切替について

- 藤田理事から教育の質保証及び学外者に対する準委任契約から雇用契約への切替について説明があった。
- 千家監事から議題の趣旨に沿うと, 件名の「及び」は「のために」と表記するのが適切ではないかとの意見があり, 藤田理事から以後続く法定会議では件名の修正を検討したいとの回答があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。

議題4 学生の自主的学修の促進を目指すフレックスターム, ギャップターム(案)について

- 肥後理事から学生の自主的学修の促進を目指すフレックスターム, ギャップターム(案)について説明があった。
- 杉江評議員からフレックスターム, ギャップターム期間中の海外研修等において大切なことは学生が楽しんで取り組むことであり, 教員が学生の熱意を引き出す方法を考えることが重要であるとの意見があった。
- 審議の結果, 原案どおり議決された。

議題5 2022年度の遠隔授業(メディア授業)のガイドライン(案)について

- 肥後理事から2022年度の遠隔授業(メディア授業)のガイドライン(案)について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

議題6 令和4年度前期公開講座実施計画(案)について

- 肥後理事から令和4年度前期公開講座実施計画(案)について説明があり, 審議の結果, 原案どおり議決された。

協議事項 1 島根大学ビジョンの進捗管理について

- 肥後理事から島根大学ビジョンの進捗管理について説明があった。
- 伊藤総合理工学部長から学部の壁を超えた副専攻プログラム等の教育システムの構築について、今後のスキームを示すことは可能であるか質問があり、肥後理事から全学的な方針について迅速に示したいとの回答があった。
- 服部学長から学部において教育システムについて具体的な構想を検討してほしいとの意見があり、伊藤総合理工学部長から全学的な方針を踏まえたうえで検討したいとの回答があった。
- 服部学長から本学の学問分野別の学生数の比率はバランスが良く、メジャー・マイナープログラムを作りやすいという強みがあるため、強みを活かして独自の教育プログラムを構築できればより本学の良さを発揮できるのではないかとの意見があった。
- 千家監事から第4期中期目標期間では年度評価が廃止されるため、今後年度ベースでどのように評価すべきかを見直す必要があるとの意見があり、肥後理事から島根大学ビジョンの計画と中期目標の年度毎の計画を並べて評価していきたいとの回答があった。

報告事項 1 令和4年度前期授業の実施基準について

- 肥後理事から令和4年度前期授業の実施基準について報告があった。

報告事項 2 令和4年度予算（案）の概要について

- 長澤理事から令和4年度予算（案）の概要について報告があった。

報告事項 3 コンプライアンス・プログラム（eラーニング）の実施状況について（R3.12.31現在）

- 藤田理事から令和3年12月31日現在のコンプライアンス・プログラム（eラーニング）の実施状況について報告があった

報告事項 4 令和4年度教育研究評議会の開催日について

- 藤田理事から令和4年度教育研究評議会の開催日について報告があった。